

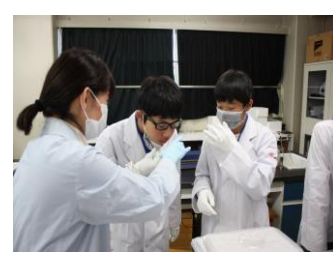
はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
平成29年12月22日発行
NO. 293

ふれあい行事を終えて

睦合中学校恒例のふれあい行事が12月9日（土）に開催されました。ふれあい行事とは、地域の方を講師としてお招きし、生徒がコースに分かれて様々な体験をする行事です。本年度は、ターゲットボードゴルフやビーチボールゲームなどの体を動かすコース、将棋や囲碁のような頭を使うコース、手芸やパステルアートなどの作品を創るコース、日本舞踊や清流太鼓などの伝統文化的なコース、合計22コースが設定され、睦合中学校と厚木北公民館に分かれて行われました。子どもたちが新しい体験を通じて、世界を広げてくれたら嬉しく思います。お昼には、PTAの方々に準備していただいた豚汁やフランクフルト、ふれあい隊の皆さんに準備していただいたワッフルなどをおいしくいただくこともできました。たくさんの講師の方々やPTAの皆さん等、地域の方々に支えられ、楽しく充実した時間を過ごすことができた子どもたちが、いつかこの地域を支えていく立派な大人に成長してくれることを願っています。今後とも、睦合中学校やその地域に住む子どもたちの健やかな成長のために、ご協力お願い致します。本当にありがとうございました。

ふれあい行事担当 鈴木 泰



全校人権集会を終えて

12月12日に「分かち合おう 睦中GOODSTORY」というテーマで全校人権集会が行われました。友人への感謝の気持ちや感動したことなど仲間を思いやる作文を全校生徒で書きました。各学年の人権集会で学級代表が紹介され、その中から最も感動を与えた作文が学年代表として選出され、この全校人権集会で紹介されました。

1年生代表は、外国からの転入生にジェスチャーを交えながら日本語を伝えようとする友人に感動した「言葉と行動で伝えて」を書いた町田花怜さん。2年生代表は、吹奏楽部で活動する伊輪拓弥さんの姿に感動した「部活を本気でやる伊輪さん」を書いた永野精一さん。3年生代表は、体育大会の大縄跳びで人一倍努力して跳べるようになった村山智花さんの姿に感動した「クラス1の頑張り屋さん」を書いた平林光瑠さんでした。それぞれの作文が朗読され、体育館全体が心温まる雰囲気になりました。これからも全校生徒で温かく思いやりある学校作りをしていってほしいと思います。

人権教育担当 小坂橋美徳

